



volume-31 6 2013

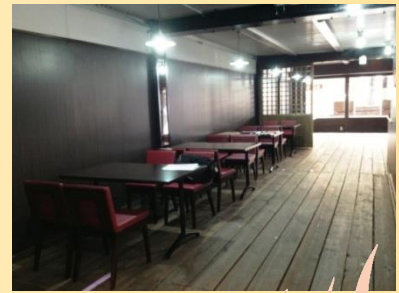
名店喫茶「あすなる」がよみがえる！

高崎鞆町にあった喫茶「あすなる」は高崎の文化発信拠点として多くの方々から親しまれていましたが、1982年に惜しまれつつ閉店しました。が、今年6月に復活します！

高崎経済大学の学生が主体となって活動する「まちなか教育センターあすなる」としてオープン致します。

高崎市のバックアップを受けており、企画・運営・地域との交流活動など学生参加の「コミュニティカフェ」となります。

筆者は高崎市民ですので閉店を知った時には残念に思っていました。それが当時の建物を利用して再開されると聞いた時は懐かしい気持ちで一杯にでした。これを機会に、人通りが少なくなっている中心街を活性化し、学生達と地域の方々との交流を通じて文化活動が広く行われと良いですね。



数度にわたるサンプルの提出を行い議論を重ねていく中で、学生たちが自分の手で作り上げていくという自覚を持ち、行動していく様子を目にいたしますと、頼もしくもあり、頑張っている感じが感じたと担当者は嬉しそうに語ってくれました。



設計事務所… 株式会社 サン設計 様
建設会社… 昭和建業株式会社 様
NPO法人まちなか教育センターあすなる 様
施主



フジコーは
ホルルのテ
ブル・チェアを
納入いたしま
した。

高崎経済大学
総務様と学生
たちと打合せ
を重ねながら
当時の写真を
元に出来る限
り再現したブ
ランを作り上
げました。

サインを納入しました

平成18年に旧倉渕村は高崎市と合併し高崎市倉渕町となりました。今回は支所と公民館の館名板・総合案内板を納入いたしました。倉渕町は緑豊かな地域で、温泉も多数ありますので一度訪ねてみてはいかがでしょうか？

倉渕支所



倉渕公民館

須藤病院様 デイサービスセンター さくらにタタミベットを 納入いたしました。



センター内静養室で利用者がお昼寝をしたり、少し横になるために設置されたそうです。



たたみは落ち着くと思いますし、日々の体調に波のあるお年寄りにはこうした場所があることは、安心出来るのではないのでしょうか。

編集後記



次々にタイムズを発行出来る事がうれしいです。これも社員皆の頑張りの結果です。まだまだ載せたいニュースがありますので、次回をお楽しみに。

「昔ながらの喫茶店はどこに？」
ふらっと立ち寄り、静かにコーヒーを飲み読書にふける…事が出来る喫茶店は少なくなりました。そんな中、記事にもある「あすなる」の再開はうれしいニュースでした！100%昔と同じではなくても皆の努力を思うと喜ばしい事です。
今は、チェーンを展開している「カフェ」が主流になっていますが、筆者にはどうもあの狭さと騒がしさが少々にがてです。まして、注文の仕方が複雑すぎて今だに理解出来ずにいます。(年がばれますか？)
でも、女子高生に聞くところだと注文をさばくカフェ店員がかっこよくて、憧れなのだそうです。(わからなない……)
また、自宅でも手軽にコーヒーを楽しめることが出来る事も一つの理由でもありますね。
ここで、インスタントコーヒーをドリップコーヒーのように味わうヒントを。
銅で沸騰したお湯にさつとインスタントコーヒーを入れると、ドリップコーヒーにも負けない味になります。お試しあれ。

